

令和2年度筑波大学山岳科学センター機能強化推進費（重点研究・個別調査研究）報告書

1. 課題名 : 茅里再生プロジェクト：茅場と茅葺き民家の持続利用に向けた現状把握：筑波山山麓の中山間地域を例に

2. 代表者名 : 廣田 充 所属・職名：生命環境系・准教授

3. 参画者名 : 立花 敏 所属・職名：生命環境系・准教授
: 出川洋介 所属・職名：MSC菅平高原実験所
: 川田清和 所属・職名：生命環境系・助教
: 黒田乃生 所属・職名：芸術系・教授
: 山本幸子 所属・職名：システム情報系・准教授
: 上野弥智代 所属・職名：日本茅葺き文化協会・事務局長
: 寺島純子 所属・職名：合同会社風来舎・理事長

4. 研究・事業の目的

- ・環境省重点里地里山にも選定されている八郷地区（石岡市）の茅場面積および茅葺き民家棟数の現状と現在に至るまでの変遷の把握
- ・現存する茅場および茅葺き屋根の生物相（植物と菌類）の現状把握
- ・現存する茅場の純一次生産量の定量化
- ・茅葺き民家のライフサイクルコスト(LCC)の算出

5. 研究・事業の成果の概要

関係者によるオンラインミーティング（計2回）を実施し、プロジェクト全体の目的および個々のプランを共有した。本プロジェクトは、**1) 当該課題に関する個々の研究調査、2) 地域の産(茅葺きに関わる会社等)・学(筑波大学、森林総研)・官(文化庁、石岡市)のネットワーク強化および情報共有・発信、さらに3) 当該課題継続・拡大のための大型予算獲得の3つを目的とする**ことにした。

1) は、今年度は当該地域（石岡市周辺）での現地調査は実施できなかった。主要な茅場（高エネルギー加速器研究機構（KEK）内の茅場（文化庁ふるさと文化財の森システム推進事業登録地））での植生調査に着手した。山岳科学学位プログラムのフィールド実習（2020年度）を実施した。

2) は、茅葺き茅刈り研修等（2020.12.12-13実施）を通じた当該地域関係者との交流、および情報発信のためのフリーペーパー「茅場」vol.4を発刊した。また、高エネルギー加速器研究機構(KEK)とMSCとの連携協定書の準備を進めた。

3) は、三菱財団やトヨタ財団の研究助成に応募して、三菱財団（代表者：黒田乃生）が採択された。学内の系横断 R&D プロジェクトに申請したが不採択であった。次年度以降も茅里グループで申請を継続していく予定である。

6. 研究業績・事業実績

フリーペーパー「茅場」vol.4（廣田監修、出川、川田、黒田、山本、上野共著, 2021年3月）

7. 収支

